

重点目標

「よくきき よく考えよう」

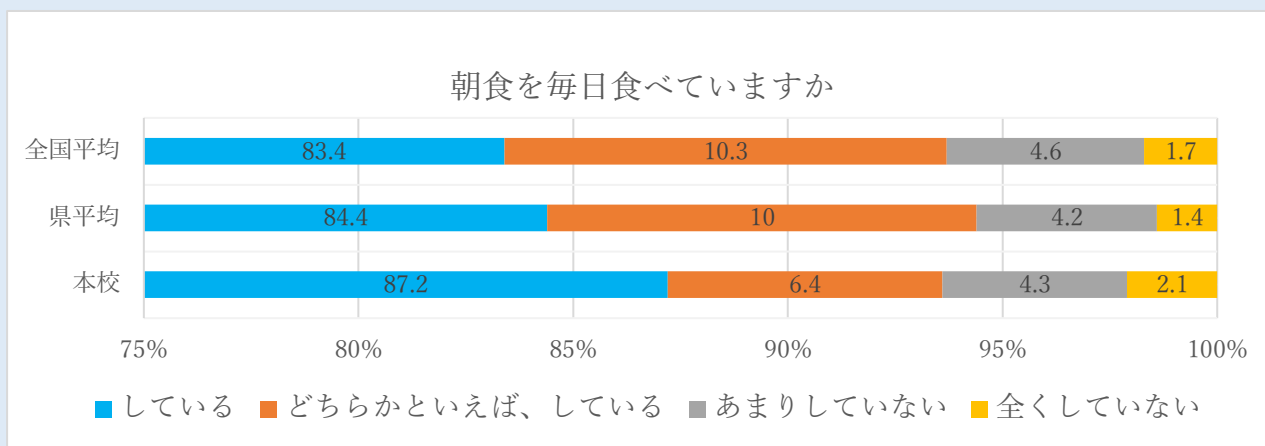
ミッション

「対話と協働により、児童一人一人の可能性を引き出し伸ばす」

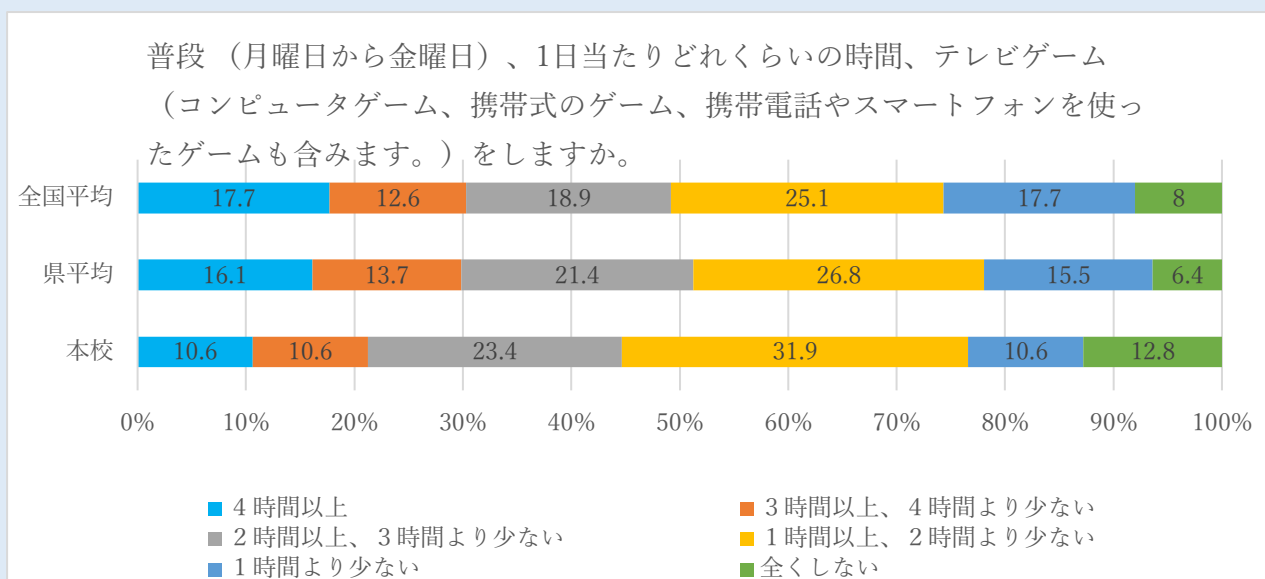
自分には、よいところがありますか？



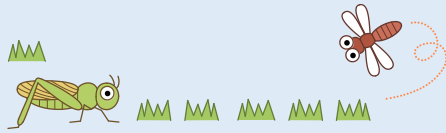
6年生が4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。児童質問紙調査の中で、特に家庭との関連が深い項目を取り上げます。学力については、9月3日に学校のホームページで公表します。どうぞご覧ください。



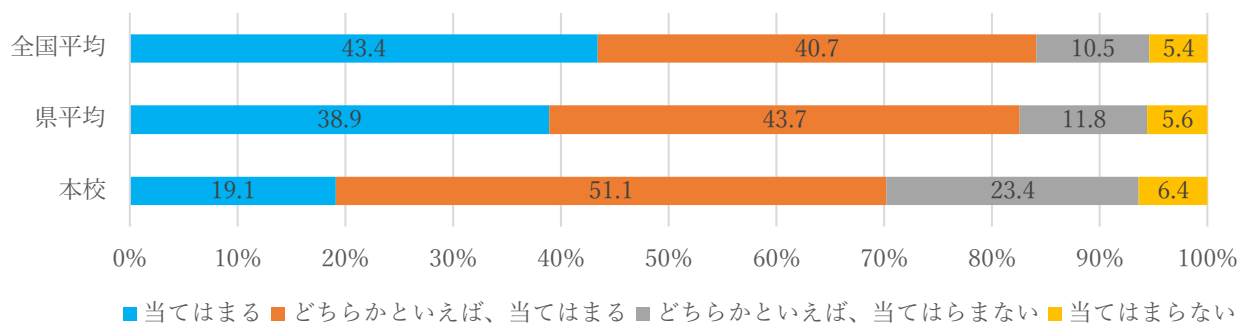
朝食を毎日食べることは、保護者の皆様のご理解とご協力があった結果であり、大変うれしく思います。朝食を食べることによって、脳のエネルギー源であるブドウ糖が供給され、脳の働きを活性化し、集中力や記憶力が高まります。今後も朝食を食べて登校させてほしいと思います。



よい傾向として、「4時間以上」、「3時間以上、4時間より少ない」の割合が全国平均や県平均に比べて少なくなっています。また、「全くしない」の割合が多くなっています。しかし、1時間以上やっている児童が76.5%になっています。自己マネジメント力を高めるために、保護者の皆様のご支援が必要です。自己マネジメントについては、令和5年度の8月の学校だよりに掲載してあります。ホームページの学校だよりのタブからご覧いただけます。



自分には、よいところがあると思いますか



「当てはまる」を選択した児童は、県平均や全国平均と比べると約半分の割合になっています。子供たち一人一人の自己肯定感を高める必要があります。では、自己肯定感を高めるにはどうすればよいでしょうか。次のことが大切だと思います。

- 1 自然体験活動、奉仕体験活動、文化芸術体験活動などの様々な体験活動を通じて、達成感や成功体験等を味わわせる。
- 2 失敗や挫折を経験したときに、自分を受け入れ、課題に立ち向かう姿勢を身に付けることができるようにする。そのためには、子供が親から「理解されている」、「愛されている」ということがベースとしてあり、親の励ましの言葉かけが大切です。

学校では子供たち一人一人のよさを見取り、褒めるための材料を意図的・計画的につくっていきます。一人一人が自信をもって学校生活を送れるよう、対話と協働により、児童一人一人の可能性を引き出し伸ばしていきたいと思いますので、今後ともご協力をよろしくお願いします。

